

Ⅲ 一般会計当初予算の特徴

1 予算編成の基本的な考え方

令和3年度一般会計予算では、まずは、新型コロナウイルスの感染拡大の防止のため、検査体制の継続、ワクチンの円滑な接種などを進めてまいります。同時に、経済的に困難な状況となっている市民生活と、低迷する地域経済をしっかりと支えていく必要があります。加えて、コロナ収束後の準備を遅滞なく進めていかななくてはなりません。

コロナ禍による市税の減収等で横須賀市の財政運営は厳しさを増していますが、内部管理コストを徹底的に見直すことなどで財源をねん出し、市民生活と地域経済を支えるとともに、ダメージを受けた経済の回復に向けて、様々な仕掛けづくりと準備を行うことを念頭に、以下のとおり予算を編成しました。

【基本方針】

(1) 「再興プラン」に基づく積極投資

令和3年度は「横須賀再興プラン（横須賀市実施計画2018－2021）」（以下、再興プラン）の最終年度を迎える総仕上げの年です。

横須賀市の特性を生かした3つのまちづくりの方向性を全ての分野にわたり常に意識した上で、4つの最重点施策に沿った事業に財源を重点配分します。

なお、技術革新のスピードや社会情勢の変化を見据え、計画策定時の事業内容にこだわらず、より効果的な施策を積極的に検討します。

(2) 市内経済を早期に回復していくための投資

新型コロナウイルス感染症により低迷する消費の喚起、就労・雇用対策、観光振興など、市内経済を早期に回復させる取り組みに対して積極的な投資を行います。

(3) 将来に向けた先行投資

将来のまちづくりの方向性に沿って、長期的なスパンで効果が期待できる事業に対する先行投資には積極的な財源配分を行います。

また、社会情勢の変化に対応するとともに、市民サービスの向上、業務の効率化を図るため、ICT技術の導入・活用に積極的に取り組みます。

【積極投資のための財源確保】

税収の大幅な減少、社会保障費の増加、新型コロナウイルス感染症への対応が予測される中でも、再興プランに掲げた事業を着実に実施するとともに、市民の暮らし、市内経済を一日も早く回復させるため、以下の方策で財源確保を図っていきます。

- (1) 徹底した内部管理経費の見直し
- (2) FM戦略プラン等の着実な推進
- (3) 国や県などからの財源の獲得
- (4) 決算ベースの編成

【基本姿勢】

- (1) 広い視野に立った積極的な事業立案
- (2) 国・県をはじめ、他の自治体や民間企業、研究開発機関等との連携強化
- (3) 時代の変化に合わせた取り組み

2 令和3年度当初予算の状況（一般会計）

（1）予算規模

区 分	令和3年度 当初予算額(A)	令和2年度 当初予算額(B)	増減額 (A) - (B)	伸率
予算規模	1,595億1,000万円	1,578億円	17億1,000万円	1.1%

（2）歳出

- 主な増加要因は、新型コロナウイルス予防接種事業など感染症対策に約35億円（皆増）、中学校完全給食の開始に伴う運営経費に約7億円（皆増）です。
- 主な減少要因は、業務見直しなどによる人件費（約8億円）の減をはじめとする内部管理経費の徹底した削減のほか、芸術劇場建設で借り入れた市債の償還が終了したことなどによる公債費（約9億円）の減です。

（3）歳入

- コロナ禍による経済への影響等により市税等が約49億円減少し、過去最大の減収額となりました。
- 市税等の減収に対する補てん措置として、地方交付税と臨時財政対策債が合わせて約28億円増加し、地方特例交付金は約12億円増加しました。

（4）財源不足額（基金取り崩し額）

一般会計の財源不足を補填する財政調整基金からの取り崩しは、これまでで最も少ない38億5,000万円に抑えました。

（基金取り崩し額（財源不足額）の比較）

区 分	令和3年度 当初予算額 での取崩額 (A)	令和2年度 当初予算額 での取崩額 (B)	増減額 (A) - (B)	(参考) 令和3年度末 基金残高見込 (※)
財政調整基金	38.5億円	52.2億円	△13.7億円	32.0億円

※ R2末残高（最終補正後）70.5億円 - R3取崩額38.5億円 = R3末残高見込32.0億円

(基金繰入金 (当初予算) の推移)

(単位：億円)

H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
39.9	71.4	75.4	58.4	99.4	73.8	71.0	59.7	49.4
H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
48.0	45.4	46.7	49.6	54.5	60.0	59.5	61.7	41.9
R1	R2	R3						
56.3	52.2	38.5						

(5) 市債残高 (全会計)

(単位：億円)

会 計 名	令和元年度末 残高	令和2年度末 残高見込み	令和3年度末 残高見込み	R3-R2 比較増(△)減
一 般 会 計	1,862	1,893	1,980	87
通 常 債	1,029	1,051	1,082	31
臨時財政対策債等	833	842	898	56
母 子 父 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付	5	5	5	0
水 道 事 業	185	188	185	△3
下 水 道 事 業	791	788	760	△28
病 院 事 業	44	41	39	△2
合 計	2,887	2,915	2,969	54

*端数処理のため、合計が表示と合わない場合があります。